

グローバルデザイン提案書:ニセコ町

中川淳司*

はじめに

ニセコ町は北海道の南西部に位置する。面積は197.13km²、2020年の人口は5,074人である。ニセコ町の産業の柱は農業と観光業である。豊かな自然に恵まれ、特に冬のニセコアンヌプリ（海拔1308m）はパウダースノーで知られ、世界的なスノーリゾートとして海外からも注目を集めている。2001年に施行された「ニセコ町まちづくり基本条例」は、ニセコ町が将来にわたり豊かな自治を進めていくための基本事項を定めている。「環境モデル都市の取組」、「独自の開発ルールづくり」などのまちづくりを実践し、

取り組んできた。2018年には「SDGs未来都市」に選定された。未来の子どもたちに引き継ぐことができる「相互扶助社会」づくり、持続可能なまちづくりに取り組んでおり、SDGsの目標達成に貢献することを目指している。

本提案書は、ニセコ町のグローバルなつながりと歴史・文化・産業・自然環境などの資源を明らかにし、ニセコ町がグローバルなつながりを活かしながら、その資源を活用して実現する経済社会の将来像を提案するとともに、その実現に向けた課題を明らかにする。

目次

1. ニセコ町のグローバル・プロファイリング

- a 基本情報
- b 経済の概況
- c 農業と観光業
- d 文化・交流
- e 外国人住民の受入れ体制
- f 交通アクセス

2. ニセコ町のグローバルデザインの提案

- a 観光振興
- b 農産物輸出
- c 外国人住民の受入れ

* 中央学院大学現代教養学部教授・社会システム研究所長

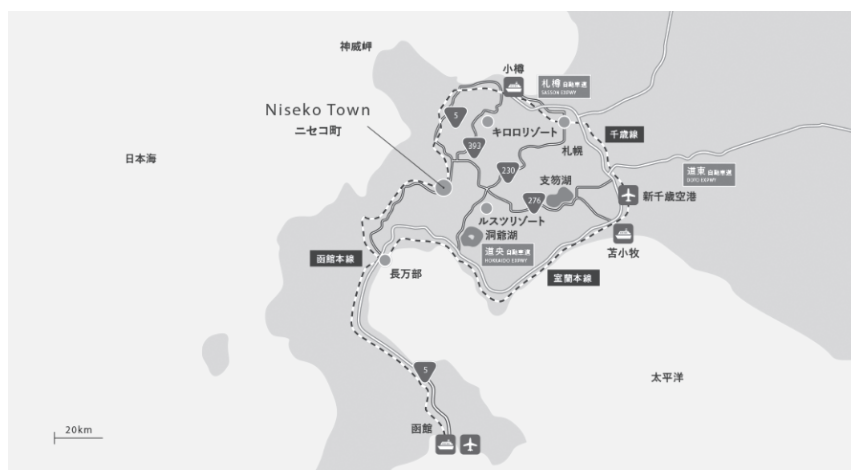
1.ニセコ町のグローバル・プロファイリング

a 基本情報

ニセコ町（北海道虻田郡ニセコ町）は北海道の南西部に位置し、東に蝦夷富士の名称で親しまれている羊蹄山（標高1,898m）、北にニセコアンヌプリ（標高1,308m）を望む。面積は

197.13km²。東西20km、南北19kmの広がりを見せ、町の中心をかつて清流日本一に輝いた尻別川¹が東西に流れている。羊蹄山周辺は支笏洞爺国立公園²に指定され、ニセコアンヌプリ周辺はニセコ積丹小樽海岸国定公園³に指定されている。

図1 ニセコ町の位置



出典：ニセコ町「ニセコ町へのアクセス」

https://www.town.niseko.lg.jp/about_niseko/access/

気候は日本海側気候に分類され、春から夏にかけては温暖で晴天の日が多いが、冬は北西からの季節風の影響を受けて降雪量が多く、特別豪雪地帯⁴に指定されている。殊に、ニセコアンヌプリはパウダースノーで知られ、世界的なスノーリゾートとして海外からも注目を集めている。

人口は1920年から1940年にかけて減少し

た。戦後一時は増加したが、1960年から減少し、1980年には1920年の半分以下にまで落ち込み、その後は横ばい状態が続いた。2000年代半ばからは、子育て世代やリタイア後の移住者、外国人居住者の増加により人口は微増している。2020年の国勢調査によれば、人口は5,074人である⁵。

1 国土交通省「全国18河川が『水質が最も良好な河川』に」2021年7月1日報道発表。

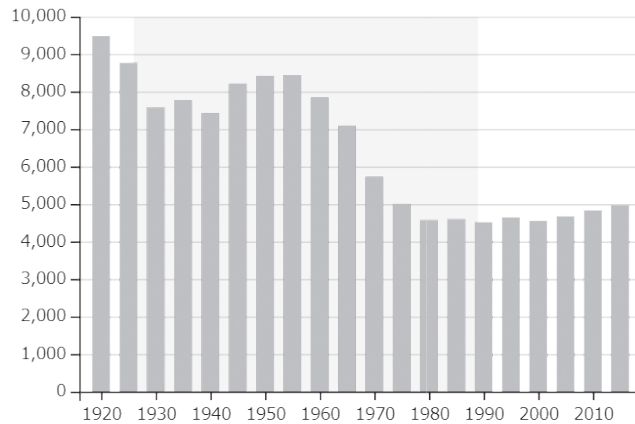
2 1950年指定。

3 1963年指定。

4 豪雪地帯対策特別措置法（昭和37年法律第73号）第2条第2項で「積雪の度が特に高く、…住民の生活に著しい支障を生ずる地域」として指定される地域。

5 ニセコ町「数字で見るニセコ ニセコ町統計資料 2022年5月版」2022年、9頁。

図2 ニセコ町（に相当する地域）の人口の推移



出典：ウィキペディア「ニセコ町」

b 経済の概況

ニセコ町の産業の3つの柱は農業と建設業、観光業である。RESAS生産分析によれば、ニセコ町の2018年の生産額（総額）は376億円、その内訳は、第1次産業（農業）60億円（16.0%）、第2次産業141億円（37.5%）、第3

次産業175億円（46.5%）である。第2次産業では建設業（115億円）、食料品（10億円）、第3次産業では宿泊・飲食サービス業（48億円）、電気業（23億円）、公務（21億円）、運輸・郵便業（18億円）の比重が大きい（図3を参照）⁶。

図3 ニセコ町の2018年の生産額内訳



出典：RESAS 地域経済循環マップ「生産分析 産業分類」

6 RESAS 地域経済循環マップ「生産分析 産業分類」

就業人口で見ても、農業（約410人）、建設業（約280人）と宿泊・飲食サービス（約470人）が全就業者数（2,538人）に占める比重が大きい⁷。

c 農業と観光業

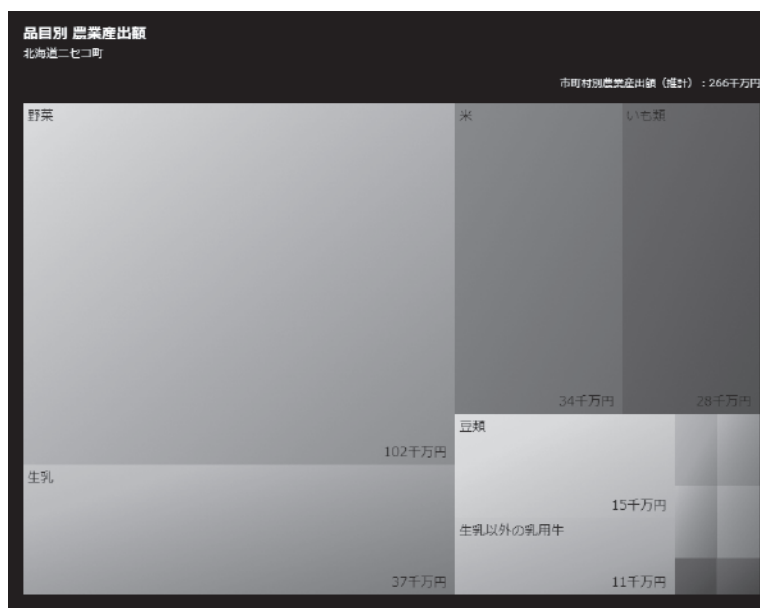
(1) 農業

ニセコ町の農業に関するデータを見てみよう。2021年の耕地面積は2,730haである。農業就業人口⁸は327人、販売農家数は127戸である。1962年に販売農家数は708戸あったが減少傾向が続いている。127戸の内訳は、主業農家

76戸、準主業農家8戸、副業的農家35戸となっている⁹。

2020年の品目別農業産出額は図4の通りである。主要作物は馬鈴薯、水稻、メロン、アスパラ、トマト、ゆり根等。特に馬鈴薯、メロン、アスパラは質・味が良いことで有名である¹⁰。最大の産出額を占める野菜では、多品種を生産している点に特徴がある。生産農家数の多い野菜としては、ブロッコリー（37経営体）、にんじん（26経営体）、トマト（23経営体）、メロン（20経営体）が挙げられる¹¹。

図4 品目別農業産出額（2020年）



（出典：RESAS産業構造マップ「品目別 農業産出額」）

7 ニセコ町、同前、11-12頁。

8 農業に60日以上従事した世帯員、役員・構成員（経営主を含む）を指す。農林水産省「わがマチ・わがムラ 市町村の姿 グラフと統計で見る農林水産業 基本データ 北海道ニセコ町」

9 農林水産省、同前。

10 ニセコ町「ニセコ町の紹介・セールスポイント ニセコ町の農業」
<https://www.town.niseko.lg.jp/iju/about_niseko/shokai/>

11 農林水産省、前掲注8。

2021年度の主要10作物の総作付面積は1288.33haであったが、作付け動向調査を開始した1993年は1698.09haであり、年々減少傾向にある。それに伴い、収穫量も減少している。2021年度の主要4作物（馬鈴薯、水稻、小麦、豆類）の収穫量は10,107tで、豆類の作付面積が増加した2020年度と比べると減少していた。馬鈴薯の作付面積は減少しているものの、収穫量は2019年度より増加していた。作付面積の減少や気象状況に伴い収穫量にも変動が見られる¹²。

次に、農産物販売金額帯別の経営体割合を見

てみよう。2020年には、100万円未満9.84%、100万円以上1,000万円未満34.09%、1,000万円以上5,000万円未満46.21%、5,000万円以上1億円未満7.57%、1億円以上2.27%となっている¹³。同じく2020年の経営耕地面積は、総面積2,084ha、経営体当たり平均は15.79haである。全国平均の3.05haを大きく上回るが、北海道平均の30.21haよりは狭い。その内訳は、0.3ha未満3.78%、0.3ha以上1.0ha未満9.84%、1ha以上10ha未満34.85%、10ha以上30ha未満38.65%、30ha以上12.88%である¹⁴。



©ニセコ町「町内農産物直売所の紹介」



©楽天市場「北海道旬菜本舗」

(2) 観光業

ニセコ町の産業を支えるもう一つの柱は観光業である。まず、ニセコ町の観光客入り込み総数は、海外からの観光客や道の駅などの入込増加により、コロナ禍の影響で激減した2020年以前は過去最大級の入込状況を記録した。季節で見ると、1999年度から夏と冬の入込み数が逆転しており、かつてのスキー場

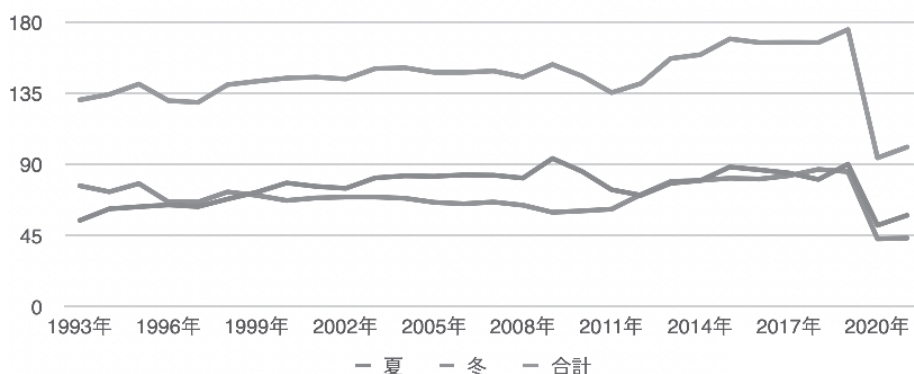
中心だったニセコ町の観光に変化が見られたが、2014年以降、世界屈指と言われるパウダースノーのスキーリゾートの魅力が再び注目を浴び、海外からの冬の入込み数が増加した。2019年は夏（5月～11月）90万人、冬（12月～4月）85.2万人と観光客の入込み数が拮抗した。

12 ニセコ町、前掲注5、14頁。

13 RESAS 産業構造マップ「農業 農業者分析 農産物販売金額帯別の経営体の割合」

14 RESAS 産業構造マップ「農業 農地分析」

図5 ニセコ町の観光客入込数の推移（夏・冬・通年。単位万人）



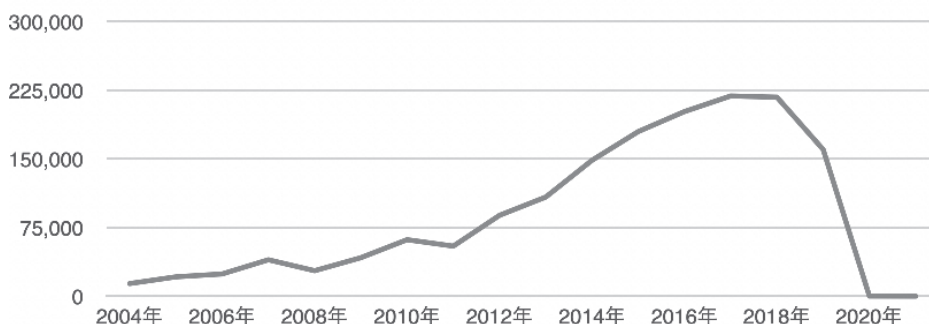
（出典：ニセコ町「数字で見るニセコ ニセコ町統計資料 2022年5月版」15頁。）

ニセコ町の観光客入込数は1月と8月にピークを持つ二峰型に特徴がある。スキーシーズンの冬と、ラフティング、登山などのアウトドアスポーツを楽しむことができる夏にニセコ町の魅力を感じる人が多いようだ。また、ニセコ町

の温泉¹⁵の魅力も国内外から注目されている。

新型コロナウイルス感染症の流行まで、ニセコ町の外国人宿泊客（延べ）数は、不況や災害などによる影響を除くと、右肩上がりを継続していた（図6を参照）。

図6 各年度（4月～3月）外国人観光客宿泊客数の推移



（出典：ニセコ町「数字で見るニセコ ニセコ町統計資料 2022年5月版」17頁）

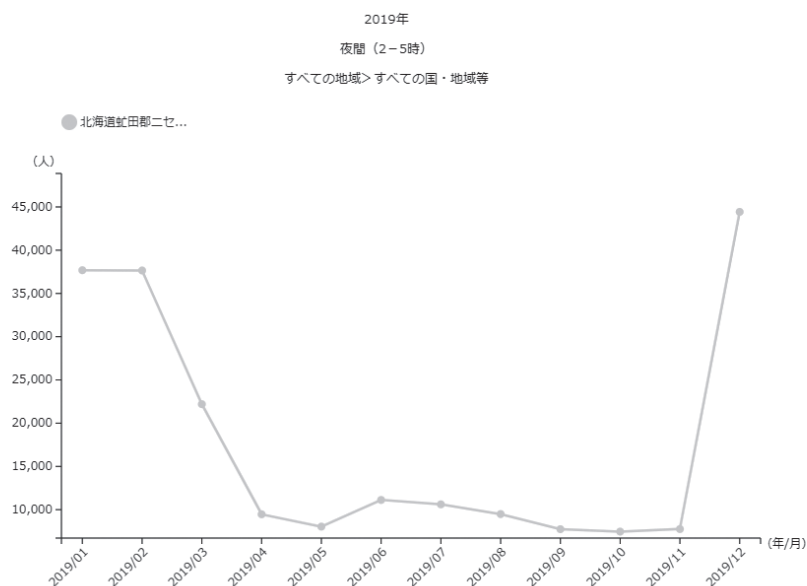
2019年の訪日外国人旅行者の宿泊者数（夜間（2-5時）の滞在者数）の月平均は17,804.5人であった¹⁶。図7に2019年の月別の宿泊滞在

数の推移を示した。スキーシーズン（12月～3月）に宿泊者が集中している。

15 ニセコ町は古くから温泉地として知られている。点在する豊富な泉質の温泉が魅力である。参照、株式会社ニセコリゾート観光協会「ニセコの楽しみ方 温泉」<<https://www.niseko-ta.jp/resorts/hotspring/>>

16 RESAS 観光マップ「外国人滞在分析」。

図7 訪日外国旅行者宿泊数の推移（2019年）



出典：RESAS観光マップ「外国人滞在分析 地域別滞在者数の推移（2019年）夜間（2-5時）」

国別に見れば、特に東アジア、オセアニアからの来訪者が多く、近年は東南アジアや欧米諸国からの訪問客も増加していた。コロナ禍に見舞われるまでは全国的に好調であったインバウンドであるが、ニセコ町においては、継続的な海外向けのプロモーションやこまめな情報発信などにより、ニセコエリアのスノーリゾートとしての認知度が上がったこと¹⁷が主な要因と推測される。特に、天候その他の条件を判断して、スキー場に設置されたゲートから安全にバックカントリースキーを楽しむことができる「ニセコルール」¹⁸がSNSなどを通じて拡散した結果、ニセコ町のパウダースノーの魅力が広く世界に

知られることになった。

新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年と2021年のニセコ町の外国人宿泊者数は183人、77人となり、ほぼ消滅した（図6を参照）。しかし、新型コロナウイルス感染症の収束が見えてきた2022年10月には外国人観光客の入国規制が大幅に緩和された。再びニセコ町を多くの外国人観光客が訪れるようになるのは確実である。倶知安町を含むニセコエリアでは、外国人観光客・長期滞在客を見込んだ高級宿泊施設・コンドミニアムの建設ラッシュが続いており¹⁹、外国人観光客・長期滞在客の受入れ体制は更に充実することになる。

17 海外向けのプロモーションでは、近年特に訪問者のSNSを通じた発信からの口コミによるプロモーションが効果を上げている。株式会社ニセコリゾート観光協会下田伸一代表取締役からのヒヤリング。2021年11月22日。

18 ニセコ町「ニセコルール（2021-2022）」<<https://www.town.niseko.lg.jp/sightseeing/rules/>>

19 「外国人消えたニセコ、それでも『ホテル続々』の訳」東洋経済 Online、2021年8月21日。
<<https://toyokeizai.net/articles/-/448634>>



© ニセコ雪道楽 Blog



© ニセコアドベンチャーセンター

(3) 産業別特化係数（2016年）

ニセコ町の農業と宿泊業について、従業者1人当たりの生産性を示す産業別特化係数²⁰を見てみよう。

農業・林業の付加価値額の特化係数は2.65、従業者数の特化係数は4.66、これから算定される労働生産性の特化係数は0.55である。これに対して、宿泊業の付加価値額の特化係数は84.19、従業者数の特化係数は26.05、労働生産性の特化係数3.33である²¹。ニセコ町の産業の3本柱として農業と建設業、観光業を挙げたが、産業特化係数に示された労働生産性については大きな開きがある。宿泊業の労働生産性の特化係数は全国平均と比較しても3.33倍と高いが、農業の労働生産性の特化係数は全国平均の約半分に留まっている。

(4) 創業比率²²（2014～2016年）

ニセコ町の2014年から2016年の創業比率は10.92%である。全国平均の5.04%、北海道平均の4.88%に比べて2倍以上の高い比率となっている²³。道内の市町村で2位、全国でも15位に位置する高い数字である。全国で見た場合、ニセコ町より上位に位置する自治体には、東京都渋谷区（10位）、長野県軽井沢町（12位）などと並んで、東日本大震災で被災した多数の自治体が挙げられている（福島県富岡町（1位）、福島県楢葉町（2位）、福島県浪江町（3位）、宮城県女川町（5位）、宮城県南三陸町（6位）、岩手県大槌町（8位）、岩手県山田町（9位）など）。これらの自治体では、国の震災復興事業として多額の資金が投じられており、それに依拠した起業が多いことが推測される。これらの自治体を除くと、ニセコ町の創業比率は北海道で2位²⁴、

20 特化係数は、域内のある産業の比率を全国と同産業の比率を比較した数値である。1.0を超えていれば、当該産業が全国に比べて特化している産業とされる。参照、RESAS 産業構造マップ「産業別特化係数」。

21 RESAS 産業構造マップ「全産業 稼ぐ力分析」

22 創業比率は、ある特定の期間において、(1) 新設事業所（または企業）を年平均に均した数の (2) 期首において既に存在していた事業所（または企業）に対する割合を指す。参照、RESAS 地域経済分析システム「創業比率」。

23 RESAS 企業活動マップ「企業情報 創業比率」。

24 北海道の創業比率トップは陸別町（全国4位）である。参照、RESAS 企業活動マップ「企業情報 創業比率」。

全国で4位になる。

ニセコ町の活発な創業は現在も続いており、2021年4月～9月の新設法人の増加数ランキングで全国の町村で6位タイの9となった²⁵。世界的なスノーリゾートのあるニセコ町では雇用の受け皿も豊富で、移住者が新会社設立ブームの火付け役となっている。町は起業支援の助成制度を創設し、インフラ整備にも力を入れている。JRニセコ駅近くにあった古い倉庫群を町が買い取り、かつてでんぷん工場だった建物は町民が集まれる施設にリノベーションされた。2016年のオープンから徐々に機能を拡充し、今ではカフェスペースや売店、テレワーク設備を備えた地域の拠点に発展している²⁶。

ニセコ町の高い創業比率の理由は、一言で言えば「ニセコ町」というブランドの魅力ということになるだろう。2000年に策定されたまちづくり基本条例²⁷で情報共有と住民参加を2大原則とするまちづくりを実践してきたこと、リゾート開発に対しても景観条例²⁸に基づく住民説明会を重ねて丁寧に合意形成するプロセス

を踏み、無秩序なリゾート開発に歯止めをかけたこと、環境モデル都市（2013年選定）²⁹、SDGs未来都市（2018年選定）³⁰として、持続可能なまちづくりの先進的な取組みを進めてきたこと、多年にわたるこれらの取組みがニセコ町のブランドを磨き上げることに繋がっている。その結果、「ニセコ町だから起業する」という人が連鎖的に増えてきた³¹。

近年は、世界のお茶を販売するルピシアが2020年7月に本社を東京からニセコ町に移転した事例³²、新潟の八海酒造が2021年にウイスキー醸造所を設立した事例³³など、道外からニセコ町への転入の事例も出ており、ニセコ町のブランド力が一層高まっている。

25 「起業の増加数 ニセコ 全国町村で6位」日本経済新聞 2021年11月13日。

26 参照、同前。

27 ニセコ町「ニセコ町まちづくり基本条例」

<https://www.town.niseko.lg.jp/chosei/keikaku/machizukuri_jorei/machizukuri_jorei/>

28 ニセコ町は、2004年10月から「ニセコ町景観条例」を施行しており、町内で開発事業（高さ10mを超える建築物や工作物、指定事業場や一定規模を超える土地開発など）を実施する場合、屋外広告を設置する場合は、ニセコ町長との事前協議が必要としている。参照、ニセコ町「景観づくりと広域環境政策（ニセコ町景観条例など）」<https://www.town.niseko.lg.jp/chosei/keikaku/jorei/keikan/keikan_jorei/>

29 参照、ニセコ町「環境モデル都市（地球温暖化対策）」

<<https://www.town.niseko.lg.jp/chosei/kankyo/model/>>

30 参照、ニセコ町「SDGs未来都市」<<https://www.town.niseko.lg.jp/chosei/sdgs/>>

31 ニセコ町山本契太副町長からのヒヤリング。2021年11月22日。

32 参照、株式会社ルピシア「会社案内 沿革」<<https://www.lupicia.co.jp/information/outline.shtml>>

33 「八海酒造 ニセコにウイスキー工場 初の県外生産拠点 月内にも稼働」新潟日報 2021年3月12日。

d 文化・交流

(1) 観光地の数・評価

ニセコ町が国内だけでなく海外からも観光客を惹きつける有数の観光地であることはデータでも示される。大手旅行ウェブサイトのトリップアドバイザーでニセコ町の「観光スポット」をクリックすると、64件がヒットする。トップはニセコビレッジスキーリゾートである（口コミ数436）。ニセコアンヌプリ国際スキー場（口コミ数341）、「道の駅 ニセコビュープラザ」（口コミ数260）が続く。口コミの合計は2,111件に上る³⁴。スノーリゾートとしてのニセコ町を代表する2つのスキーリゾートがトップと第2位に上がるのは想定内であるが³⁵、「道の駅 ニセコビュープラザ」を始めとする国内観光客向けのスポットも挙がるところにニセコ町の観光地としての強みがある。第27位に北海道ライオンアドベンチャーが挙がっているが（口コミ数19）、これは夏のラフティングや気球体験などの野外レジャー活動を運営する業者である。既に見た通り、ニセコ町は夏冬を通して国内外の観光客を惹きつける日本でも指折りのリゾート地である。一般社団法人ニセコプロモーションボード、株式会社ニセコリゾート観光協会を始めとする地道な観光振興の取り組みに加えて、近年は内外の観光客によるSNSの情報発信を通

じた口コミによる観光客増加が顕著である³⁶。

(2) 景観まちづくりへの貢献度

国土交通省が進めている景観計画、景観まちづくり刷新モデル地区の指定はニセコ町内にはない。他方で、平成14年度には綺羅街道地区（ニセコ21世紀まちづくり委員会）が「美しいまちなみ優秀賞」を受賞している³⁷。



出典：ニセコ町「綺羅街道の景観づくり」

(3) 美術館数・博物館数

町内に美術館・博物館は2件ある。町営の有島記念館³⁸とニセコフォトミュージアム自然学舎³⁹である。中でも、有島記念館は、「カインの末裔」、「生まれ出づる悩み」、「或る女」などで知られる大正期の白樺派の作家・有島武郎の人と作品、武郎が所有し後に小作人に解放した農場の足跡を紹介している。常設の展示の他、有島武郎やニセコ町にちなんだ企画展を年間

34 トリップアドバイザー「ニセコ町」の「観光スポット」の件数と口コミの合計数。

35 この他に、ニセコビレッジ ピュア（第4位、口コミ数61）とニセコモイワスキーリゾート（第5位、口コミ数45）が観光スポットのトップ10に挙がっている。

36 株式会社ニセコリゾート観光協会下田伸一代表取締役からのヒヤリング。2021年11月22日。

37 国土交通省、「都市景観大賞 平成14年度『美しいまちなみ優秀賞』」。

38 <https://www.town.niseko.lg.jp/arishima_museum/>

39 <<https://www.museum.or.jp/museum/148>>

5～7回程度開催している。有島武郎青少年公募絵画展は2022年に第34回が開催された⁴⁰。



出典：有島記念館 Facebook

(4) イベントの数・評価

ニセコ町が内外の観光客を惹きつけるきっかけとなるイベントはないだろうか。トリップアドバイザー「観光」でニセコ町の「イベント」を検索したところ、該当はなかった。「miru-navi全国観るナビ」で「全てのイベント（全国のイベント一覧）」に掲載されている「郷土芸能」「行・祭事」をニセコ町について検索したところ、1件がヒットした。ニセコハロウィンである⁴¹。

ニセコハロウィンは2009年に始まった。毎年10月、ニセコ駅周辺をメイン会場としてハロウィンの飾り付けを競う。飾り物に使われるのはニセコ町特産のカボチャである。夏と冬の観光シーズンの端境期に当たる秋の集客イベントとして大きな成果を挙げている。2020年と2021年は、新型コロナウイルス感染症対応

として、フォトコンテスト形式で開催された。2022年は通常開催となり、仮装コンテスト等が行われた⁴²。



出典：ニセコ町「ニセコハロウィンイベント開催！」

(5) 宿泊施設客室数

年間180万人近い内外の観光客を受け入れる宿泊施設の整備状況を見てみよう。ニセコ町の宿泊施設に関してまず特筆すべきは、高級宿泊施設の客室数である。宿泊施設サイト一休.comでニセコ町の高級ホテル・旅館を検索すると、11施設がヒットする。客室数の合計は1065室である⁴³。観光客、特に海外からの長期滞在富裕層を受け入れる体制としては十分とは言えない。実際には、倶知安町など近隣の自治体に多数存在するハイクラスの宿泊施設が町内では収容しきれない観光客の受け皿となっている。近年、ニセコ町を含むニセコ一帯は世界的なスノーリゾートとして注目を集めており、海外富裕層を当て込んだ世界的なホテルやコンドミニアムの建設ブームが起きている⁴⁴。バブ

40 参照、有島記念館「第34回 有島武郎青少年公募絵画展」

<https://www.town.niseko.lg.jp/arishima_museum/kikaku/kikaku_2022/3797/>

41 <<https://www.nihon-kankou.or.jp/detail/01395ba2212099688>>

42 参照、Niseko Halloween フェースブック。<<https://www.facebook.com/NisekoHalloween/>>

43 一休.com「ニセコの高級ホテル・旅館 20選」<<https://www.ikyuu.com/onsen/010030/si1d/>>

44 前掲注19を参照。

ル期のリゾートブームの弊害を踏まえて、ニセコ町は景観条例を策定しており⁴⁵、乱開発に歯止めをかける努力を続けている。

(6) 観光案内所・病院の多言語対応

海外からの観光客の受入れに関して言えば、宿泊施設の整備に加えて、多言語対応の観光案内所を設けること、そして多言語対応の病院の整備が必要となる。ニセコ町に多言語対応の観光案内所は2箇所ある。JRニセコ駅ツーリストインフォメーションデスクと道の駅ニセコビュープラザ内の観光案内所である⁴⁶。他方で、多言語対応の病院はニセコ町には存在しない。近隣の施設として、JA北海道厚生連倶知安厚生病院（倶知安町）とニセコインターナショナルクリニック（倶知安町）が多言語対応を行っている⁴⁷。

(7) 観光客誘致活動

いわゆるDMO（destination management organization）として、地域連携DMOが1機関存在する。一般社団法人ニセコプロモーションボード（蘭越町、倶知安町との合同）である⁴⁸。この他に、ニセコ町単独の団体として、株式会社ニ

セコリゾート観光協会が活動している。かつて任意団体であったニセコ町の観光協会を、ニセコ町とニセコ町民が50%ずつ出資して2003年9月に改組し設立された。全国で初めて株式会社化した観光協会である。観光協会を株式会社化したのは、協会に旅行代理店としての機能を持たせるためであった⁴⁹。ニセコ町の持つ様々な資源を連携して、まちづくりをサポートしながら事業を展開している⁵⁰。協会のウェブサイトには、観光モデルコース、ニセコの楽しみ方、ニセコ湯めぐりパス、道の駅ニセコビュープラザなどが掲載されており、ニセコ町の観光案内として充実した内容となっている。日本語のウェブサイトとほぼ同じ内容の英語版ウェブサイトが設けられており、海外からの観光客のニーズにもこたえることができるが、ニセコ町に最も多くのインバウンド観光客を送り出している中国、韓国に対応する中国語や韓国語のウェブサイトは設けられていない。

(8) 魅力度・認知度・観光意欲度

「地域ブランド調査2022」における魅力度・認知度・観光意欲度の合計は104.3点であった⁵¹。

45 ニセコ町「景観づくりと広域環境政策（ニセコ町景観条例など）」

<https://www.town.niseko.lg.jp/chosei/keikaku/jorei/keikan/keikan_jorei/>

46 日本政府観光局「JNTO 認定外国人観光案内所」一覧。

<https://www.jnto.go.jp/jpn/projects/visitor_support/list.html>

47 日本政府観光局「日本を安心して旅していただくために 具合が悪くなったとき」

<https://www.jnto.go.jp/emergency/jpn/mi_guide.html>

48 一般社団法人ニセコプロモーションボード。<<https://nisekotourism.com/ja/>>

49 株式会社ニセコリゾート観光協会下田伸一代表取締役からのヒヤリング。2021年11月21日。

50 参照、株式会社ニセコリゾート観光協会「『また来たい』と思っていただける街づくりを。」

<<https://www.niseko-ta.jp/about/>>

51 ブランド総合研究所「地域ブランド調査2022」における「魅力度」、「認知度」、「観光意欲度」の3つの点数を合算した値。

魅力度は29.7点で全国順位は62位である。認知度は35.0点で全国順位は235位である。観光意欲度は39.6点で全国順位は60位である。

ニセコ町の地域資源に対する評価結果を見ると、全国平均を大きく上回っているのは「海・山・川・湖などの自然が豊か」36.3%（全国平均16.8%）、「魅力的な温泉やレジャー施設・公園などがある」23.2%（全国平均7.1%）、スポーツの参加・観戦が楽しめる9.4%（全国平均3.3%）、「食事がおいしい」11.5%（全国平均6.2%）などである⁵²。地域資源評価を総合した資源の偏差値は、自然資源が71.5、モノ資源が65.3、サービス資源が63.9と、いずれも全国平均（偏差値50.0）を大きく上回っている。他方で、歴史資源の偏差値は47.8と全国平均より低い⁵³。

豊かな自然とそこで展開される野外活動（スノースポーツやラフティング）、そして温泉とおいしい食事がニセコ町の観光地としての魅力の源泉と言える。ただし、地域ブランド調査の回答者は日本人であり、海外からの観光・滞在客が含まれないことには注意が必要である。c(2)の外国人滞在分析から明らかなように、ニセコ町への海外からの滞在客はスキーシーズンの12月～3月に集中しており、それ以外のシーズンの滞在客はさきわめて少ない。ニセコ町は海外ではもっぱらスノーリゾートとして知られていることを示している。言い換えれば、それ以

外のニセコ町の魅力が海外には知られていない。知られていないニセコ町の魅力を海外にアピールし、スノーシーズン以外の海外からの滞在客を増やす余地があると言える。

(9) 持続可能な観光

ニセコ町は近年、持続可能な観光でも脚光を浴びた。2021年10月には、オランダに本部を置く非政府組織Green Destinations⁵⁴が選定するGreen Destination Top 100に2年連続で選定された。ニセコ町のGood Practice Story (2021)⁵⁵を紹介する。

直面した課題：

パウダースノーで世界的に知られたスノーリゾートであるが、気候変動のため、2019年の積雪は前2年の積雪の半分であった。21世紀後半の平均気温は摂氏5度の上昇が見込まれる。

対応策：

ニセコ町は2000年に街づくり基本条例を制定し、町の全ての会議を公開して開かれた行政を実践してきた。2020年7月、片山町長は気候非常事態を宣言し、温室効果ガス排出削減の取組みの継続をうたった⁵⁶。同月、株式会社ニセコ町を設立した。ニセコ町SDGs街区の構築作業への取組みを開始するとともに、観光産業からの二酸化炭素排出削減に取り組んだ（①観光税を財源とする再生可能エ

52 参照、「地域ブランド調査2022」における「市町村の地域資源に対する評価（Q8）」。

53 参照、「地域ブランド調査2022」における「地域資源評価」。

54 Green Destinations ホームページ。<<https://greendestinations.org>>

55 <<https://greendestinations.org/wp-content/uploads/2020/10/Niseko-Town-GPS-1-2020.pdf>>

56 ニセコ町長片山健也「ニセコ町気候非常事態宣言」2020年7月21日。

<<https://www.town.niseko.lg.jp/resources/output/contents/file/release/2990/33593/kikouhijyoujitaissenngenn.pdf>>

エネルギー導入観光業者への補助、②専門家による観光事業者向けエネルギー効率・保全監査と施策の提案)。

成功の要因：

20年にわたる住民自治と情報公開を通じた透明性促進の施策。他の政府機関・専門家の支援。

教訓：

スキーリゾートとして、広範囲のステークホルダーとの協議、外国事業者と旅行者の理解を得る努力が必要である。

成果：

環境モデル都市に選定された(2013年)。SDGs未来都市に選定された(2018年)。ジャパンタイムズの「里山& ESG Award」を受賞した(2019年)。

2021年12月には、国連世界観光機関(UNWTO)のBest Tourism Villageに認定された⁵⁷。これは、観光を通じた文化遺産の促進と保全、持続可能な開発に取り組んでいる地域を表彰するプロジェクトである。世界32カ国の44地域が選定された。日本からはニセコ町

と京都府南丹市美山町が選定された。認定期間は3年間。更新も可能である。受賞により、認定のロゴを使用した広報活動が認められるとともに、UNWTOからの支援と情報発信により世界的な認知度の向上が期待される⁵⁸。

e 外国人住民の受入れ体制

ニセコ町の在留外国人数は287人である(2021年6月)。全人口に占める割合は5.66%で、これは全国平均の2.26%を大きく上回っている。在留資格別の内訳は、技術・人文知識・国際業務71人、企業内転勤33人、技能14人、経営・管理10人、留学2人、特定活動⁵⁹ 20人、永住者54人、日本人の配偶者等38人、家族滞在21人となっている⁶⁰。

ニセコ町は外国人住民にどのようなサービスを提供しているだろうか？⁶¹

ニセコ町における外国人住民向けサービスで特筆すべきは、マレーシア、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド出身の4人の国際交流員が、地域の外国人住民社会に溶け込んでおり、行政対応のみならず日常生活においても情報発信源と相談窓口となっていることで

57 UNWTO, “UNWTO announces list of Best Tourism Villages 2021”, 2 December 2021.

<<https://www.unwto.org/tourism-villages/en/news/unwto-announces-list-of-best-tourism-villages-2021/>>

58 ニセコ町「ニセコ町がUNWTO(国連世界観光機関)の『ベスト・ツーリズム・ビレッジ』を受賞しました！」<<https://www.town.niseko.lg.jp/information/3546/>>

59 在留資格「特定活動」は「法務大臣が個々の外国人について特に指定する活動」を指す。出入国管理及び難民認定法別表第一の五の表の下欄イ～ニに記載された法定特定活動(特定研究等活動、特定情報処理活動、特定研究等家族滞在活動、特定情報処理家族滞在活動)の他、法務大臣の告示により指定された告示特定活動(2020年3月時点で49種類)がある。参照、法務省出入国在留管理庁「出入国管理法令」。

60 法務省「在留外国人統計」。

61 以下の調査項目については、日本国際交流センターによる「多文化共生と外国人受け入れについてのアンケート調査2017」と日経リサーチによる調査結果(「外国人共生、支援に遅れ 主要市区に専門窓口なし6割」に調査結果掲載)等を参考にした。

ある⁶²。行政では気づかない部分までも国際交流員が支援していることが、ニセコ町を外国人住民にとって住みやすい町にしている。

具体的な受入れ体制を見ると、まず、生活全般に関わる多言語による情報提供として、転入者に対して「ニセコくらしのガイドブック」（英語併記）を配布している。ニセコ町ホームページは5か国語（日本語、英語、簡体中文、繁体中文、ハングル）に対応している。その他、国際交流員による日常的支援を実施している。外国人住民向け生活相談は、国際交流員による日常的支援として実施している。外国人向け就労支援・労務相談は実施していない。

教育に関して、外国にルーツを持つ子どもの就学・教育支援は実施していない。外国人向け日本語教育として、国際交流員による外国人住民向け日本語教室を開催している。外国人向け日本文化・習慣紹介は実施していない。

医療に関して、多言語対応の医療機関に関する情報提供は、5か国語対応の町のホームページで実施している。医療機関の多言語対応は、ニセコ町内の医療機関は実施していないが、隣接する倶知安町の地域医療の基幹病院であるJA北海道厚生連倶知安厚生病院が実施している。外国人住民向けの健康診断・健康相談として、国際交流員による通訳などの支援を実施している。

防災に関して、多言語での災害情報提供として、5か国語対応のニセコ町ホームページを通

じた情報提供、防災マップ（英語版）の配布、SNSとラジオニセコ⁶³での国際交流員通訳による情報発信を実施している。多言語での防災訓練は実施していない。緊急時の所在把握は行っていない。

啓発に関わる活動（外国人住民に対する地域活動への参加促進、日本人住民に対する異文化理解／多文化共生教育、人材育成（多文化共生・外国人関係部局の職員・相談員に対する研修・研究会等）は実施していない。

f 交通・アクセス

最後に、ニセコ町の交通・アクセスを評価したい。

(1) 公共交通の利便性

まず、公共交通の利便性について。北海道の地方自治体に共通する特色であるが、ニセコ町も「マイカー社会」であり、居住者の多くは自家用車で移動する。通勤・通学の足としての公共交通としてはバスと鉄道が挙げられるが、そのサービスは万全とは言えない。他方で、ニセコ町では、町内での移動手段を確保し、住民の利便性を向上させるべく、デマンドバスにのこっとBUS（利用者の電話予約に対応して、自宅等から町内の目的地まで運行する形態のバス）を運行している。料金は1乗降200円であるが、就学前の小児は無料である。その他、身体障害者手帳保持者や要介護認定を受けている人などには割引料金が適用される⁶⁴。にこっとBUSの

62 ニセコ町「ニセコ町役場国際交流員」<https://www.town.niseko.lg.jp/international/cir_j/>

63 <<https://radioniseko.jp/>>

64 ニセコ町「にこっとBUS（デマンドバス）運行」。

<https://www.town.niseko.lg.jp/kurashi/seikatsu/kotsu/nikotto_bus/>

運行に伴い、町内循環バス「ふれあいシャトル」は2012年に廃止された。

(2) 空港アクセス時間の短さ

ニセコ町の空港アクセスは決して良くない。自動車を利用する場合、新千歳空港からニセコ町役場まで、国道276号経由で1時間59分、道央自動車道経由で1時間57分かかる⁶⁵。公共交通を利用すれば、新千歳空港からニセコ駅まで、鉄道と高速バスを乗り継いでも3時間20分はかかる⁶⁶。ただし、ニセコ町のスノーリゾートを訪問する海外からの観光・滞在客にとっては、この程度の所要時間は特段の障害にはならないと思われる。一つには海外からの観光・滞在客のニセコ町での滞在期間が1、2週間程度ないしそれ以上の長期にわたること、海外のスノーリゾートでも空港アクセスには同程度ないしそれ以上の時間がかかる場合が多いことがその理由である⁶⁷。

(3) 新幹線の利用しやすさ

北海道新幹線新函館北斗駅からニセコ駅までは2時間41分かかる⁶⁸。ただし、2030年度末に北海道新幹線が札幌まで開通すれば、最寄り駅の倶知安からニセコ駅までの所要時間は大幅に短縮されるだろう⁶⁹。

2. ニセコ町のグローバルデザインの提案

ニセコ町のグローバル・プロファイリング結果を踏まえて、ニセコ町のグローバルデザインとして以下の3項目に関する提案を行う。

- a 観光振興
- b 農産物輸出
- c 外国人住民の受入れ

a 観光振興

【ビジョン】持続可能な観光を实践する世界有数のスノーリゾートとしてのブランドを維持する。

1 c (2) で見た通り、ニセコ町は世界有数のスノーリゾートとしてのブランドを確立している。これには、安全にバックカントリースキーを楽しむことができる「ニセコルール」を導入したことがSNSなどを通じて世界に広く知られるようになったことが大きい。1 d (9) で見たように、近年はさらに、持続可能な観光地として世界的なランキングに入選した。これにより、単なるスノーリゾートとしてではなく、持続可能な観光を实践するスノーリゾートとしてのブランド力を獲得するに至った。これには、2000年に策定された街づくり基本条例で情報共有と住民参加を2大原則とするまちづくりを实践してきたこと、リゾート開発に対しても景観条例に基づく住民説明会を重ねて丁寧に合意形成するプロセスを踏み、無秩序なリゾート開発に歯止めをかけてきたこと、環境モデル都市

65 Google Map ルート検索による。

66 Yahoo! 路線情報による。

67 株式会社ニセコリゾート観光協会下田伸一代表取締役からのヒヤリング。2021年11月22日。

68 Google Map ルート検索による。

69 参照、倶知安町「新函館北斗～札幌間は2030年度開業」

(2013年選定)、SDGs未来都市(2018年選定)として、持続可能なまちづくりの先進的な取組みを進めてきたことが貢献している。

ニセコ町の経済社会の将来像を構想するに当たっては、町の主力産業である観光業が持つこのブランド力を強みとして維持し、強化してゆくことが大切である。

【課題】 このビジョンを達成するに当たって取り組むべき課題としては、持続可能な観光の実践と継続、外国人観光客の質と量の確保、通年・滞在型リゾートへの発展、情報発信の強化が挙げられる。

【課題1】 持続可能な観光の実践と継続

ニセコ町は、2021年、持続可能な観光地として世界的なランキングに入選した。このうち、Green Destinationsが選定するGreen Destination Top 100では、ニセコ町のGood Practice Story(2021)として、2000年に街づくり基本条例を制定し、町の全ての会議を公開して開かれた行政を実践してきたこと、2020年7月、片山町長が気候非常事態を宣言し、温室効果ガス排出削減の取組みの継続をうたったこと、同月、株式会社ニセコ町を設立し、ニセコ町SDGs街区の構築作業⁷⁰への取組みを開始するとともに観光産業からの二酸化炭素排出削減に取り組んだことが評価された。国連

世界観光機関(UNWTO)のBest Tourism Villageでは、ニセコ町の観光産業が農産物の地産地消を通じて持続可能な消費と生産を実践していること、2020年の気候非常事態宣言、尻別川の希少種イトウを保護するパトロールの実施など、SDGsに合致する環境保護に取り組んでいること、観光振興団体及びその活動⁷¹において関連するすべてのステークホルダーが観光に関与し裨益する強固なガバナンス構造を構築していることが評価された⁷²。これらの実践はニセコ町が持続可能な観光を実践する上で有効であり、今後も継続することが期待される。

【課題2】 外国人観光客の質と量の確保

新型コロナウイルス感染症によりほぼ消滅した外国人観光客であるが、感染症の収束が見えてきた2022年10月には外国人観光客の入国規制が大幅に緩和された。再びニセコ町を多くの外国人観光客が訪れるようになるのは確実である。ただし、持続可能な観光を実践する世界有数のスノーリゾートとしてのブランドを維持する観点からは、単に外国人観光客の数が回復すればよいということではない。観光客数の増加をコントロールしながら観光収入の確実な増加を達成することが重要である。そのためには、観光客の滞在日数と一人当たり観光消費額を伸ばすことが必要である。それを可能とするハードなインフラとして、ニセコ町、倶知安町を含

70 ニセコ町「SDGs未来都市 NISEKO 生活・モデル地区構築事業」

<<https://www.town.niseko.lg.jp/chosei/sdgs/>>

71 株式会社ニセコリゾート観光協会、ニセコ観光圏協議会、ニセコ観光圏整備計画を指す。参照、UNWTO, Best Tourism Villages, Niseko, Japan, 2021. <<https://www.unwto.org/tourism-villages/en/villages/niseko/>>

72 Id.

むニセコエリアではハイクラスの宿泊施設やコンドミニアムの建設が続いている。これにより、今後は海外からの富裕層及び国内の富裕層の訪問・滞在が増加することが期待される。

【課題3】 通年・滞在型リゾートへの発展

ニセコ町の観光が直面するもう一つの課題は、現在はスノーシーズンにほぼ限定されている外国人観光客を通年で迎える通年・滞在型リゾートへと成長させることである。ハイクラスの宿泊施設やコンドミニアムの建設が進んだ結果、通年・滞在型リゾートとしてのハードなインフラは十分に整いつつある。コンドミニアムを利用した避暑のための日本人やアジア圏の旅行者の長期滞在も次第に増加している。しかし、外国人観光客の主力は依然としてスノーシーズンに集中しているため、夏季と冬季で繁閑の差があり、宿泊・飲食業における雇用の不安定がもたらされている⁷³。この現状を変革し、外国人観光客を通年で迎えることが課題となる。そのためのPR活動が欠かせない。夏の野外活動である登山やラフティングのPR、もう一つの基幹産業である農業を生かした地産地消の食を通じた観光の振興、豊かな温泉資源のPRを強化することで、スノーシーズン以外の季節に対

する外国人観光客の需要を喚起することが必要である。

【課題4】 情報発信の強化

以上の課題を達成するためには、ニセコ町の観光に関する対外的な情報発信を強化することが肝要である。観光振興団体である一般社団法人ニセコプロモーションボード⁷⁴、株式会社ニセコリゾート観光協会⁷⁵のウェブサイトの充実と多言語化を提案したい。その他に、SNSを通じた情報発信の強化も有効である。ニセコプロモーションボードのフェースブック⁷⁶、株式会社ニセコリゾート観光協会のフェースブック⁷⁷、道の駅ニセコビュープラザのインスタグラム⁷⁸等のSNSを通じた情報発信の一層の強化が求められる。

b 農産物輸出

【ビジョン】 農産物の海外輸出に注力し、産出高の相当割合を海外輸出することを目指す。

ニセコ町の農業は、農産物の多品目生産に特徴がある。他方で、1 c (1) で見たように、販売農家数、作付面積ともに減少傾向にある。この傾向に歯止めをかけ、将来的に安定的な生産が持続できるような営農体制をいかにして確立

73 蘭越町・ニセコ町・倶知安町「世界が選ぶニセコ NISEKO, My Extreme - ニセコ観光圏整備計画 - 2019-2023」9 ページ。<<https://www.mlit.go.jp/common/001284212.pdf>>

74 ニセコプロモーションボードホームページ。<<https://nisekotourism.com/ja/>> このホームページには英文と繁体中文のページが設けられている。

75 株式会社ニセコリゾート観光協会のホームページ。<<https://www.niseko-ta.jp/>> このホームページには英文のページが設けられている。

76 <<https://www.facebook.com/Niseko.Japan/>>

77 <<https://www.facebook.com/niseko.ta/>>

78 <<https://www.instagram.com/michinoekiniseko/?hl=ja>>

するかが課題となっている。ニセコ町の農産物は国内市場向けに出荷されているが、今後伸びることが期待される海外市場向けに輸出することに注力してはどうか。特に、国が輸出重点品目として選定している牛乳・乳製品、コメについては、輸出増加が期待できる。

【課題】 このビジョンを達成するためには、海外市場へのアクセスをどう確保するか、海外市場向けの生産・加工と商品開発をいかに進めるかが課題となる。

【課題1】 海外市場へのアクセス確保

海外市場への輸出実績がない中で、いかにして海外市場へのアクセスを確保するかが課題となる。海外市場へのアクセス確保のためには、海外市場情報の入手、高い営業コスト、複雑な輸出手続、代金の回収リスクなどの課題がある。これらの課題克服のためには、日本政府及び関係団体が提供する種々のサービスを活用すべきである。日本政府は、日本産農林水産物・食品の有望な輸出先国に輸出支援プラットフォームを設置し、農林水産物・食品の輸出拡大に向けた環境整備の取組み（カンントリーレポートの作成、現地主導でのプロモーションの推進、現地拠点を設ける事業者への支援、日本食レストラ

ン等と連携した日本食の普及等）を実施している⁷⁹。また、日本貿易振興機構（ジェトロ）⁸⁰や北海道国際流通機構⁸¹は、海外市場情報サービス、海外市場プロモーション、輸送支援サービス（輸送サービスの手配、輸出事務手続代行）を提供している。

輸出重点品目である畜産物（牛・豚・鶏肉、鶏卵、牛乳・乳製品、食肉加工品）については、日本畜産物輸出促進協議会が2014年に⁸²、コメ・コメ加工品については、全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会が2015年に設立されており⁸³、これらの製品の輸出促進に係る市場開拓調査や販売促進活動を展開している。ニセコ町の生産者・加工業者は、これらの団体に加入し、団体が提供するサービスを活用することで、海外市場へのアクセス確保を図るべきである。

ニセコ町の農産物・食品の海外における知名度を高める上では、今後増加が予想される海外からの観光客向けにニセコ町の農産物・食品の魅力を伝えるプロモーション活動も有効である。観光振興団体（一般社団法人ニセコプロモーションボード、株式会社ニセコリゾート観光協会）や宿泊施設・飲食店などの事業者とタイアップしてのプロモーション活動を企画し展開することを農業団体（JA ようていニセコ支所など）及びニセコ市役所の農業担当部署に提案したい。

79 日本貿易振興機構（ジェトロ）「農林水産物・食品 輸出支援プラットフォーム」

<<https://www.jetro.go.jp/agriportal/platform.html>>

80 日本貿易振興機構（ジェトロ）「農林水産物・食品の輸出支援ポータル」

<<https://www.jetro.go.jp/agriportal.html>>

81 参照、一般社団法人北海道国際流通機構「事業内容」.<<http://hi-do.or.jp/business/>>

82 日本畜産物輸出促進協議会「協議会について」<<http://jlec-pr.jp/ja/about/>>

83 特に参考になるのは、『令和元年度版 日本産コメ・コメ加工品輸出ハンドブック』である。

<<https://zenbeiyu.com/jp/wp-content/uploads/sites/2/2022/07/handbook-allre-R4.7.19.pdf>>

【課題2】 海外市場向けの生産・加工と商品開発

海外市場へのアクセス確保のためには、海外市場向けの生産・加工と商品開発が欠かせない。課題1で挙げた種々のサービスを活用して、海外市場向けに有望な産品・加工食品を特定し、その生産と加工を組織的に進めることが必要である。ここでも、課題1で触れた産品別の輸出促進協議会に参加することが有益である。牛乳・乳製品に関しては、日本畜産物輸出促進協議会が、日本の厳しい品質管理をクリアした製品であることを示す統一マーク（JAPAN MILK & DAIRY PRODUCTS）を紹介している（図8）⁸⁴。

図8 日本の牛乳・乳製品統一マーク



出典：日本畜産物輸出促進協議会
「牛乳・乳製品統一マーク紹介」

コメ・コメ加工食品に関しては、全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会のホームページがパックご飯や日本酒、米菓などの加工食品の魅力をアピールしており、参考になる⁸⁵。なお、日本畜産物輸出促進協議会のホームページは日

本語以外に14か国語のページが、全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会のホームページは日本語以外に8か国語のページが設けられている。

c 外国人住民の受入れ

【ビジョン】外国人住民の受入れ数を増やし、外国人住民向け行政サービスの一層の充実を図る。

ニセコ町が持続可能な観光を実践する世界有数のスノーリゾートとしてのブランドを維持するというビジョンが実現すれば、ニセコ町の観光業に従事する外国人の数が増加することが見込まれる。特に、ニセコ町が通年で外国人観光客を受け入れるようになれば、観光業に従事する外国人は季節労働者としてではなく住民としてニセコ町に滞在するようになるだろう⁸⁶。その結果、年間を通じた外国人住民の受入れ数は現在よりも増えることになる。

現在よりも増加する外国人住民に対して、提供される行政サービスの質を落とさず、一層の充実を図ることが望ましい。日本人住民に対する異文化理解／多文化共生教育の実施も検討されてよい。

【課題】この課題を達成するためには、外国人住民に対する行政サービスの現状を振り返り、特に充実が求められるサービスを特定して重点的に行政資源を配分することが必要である。日

84 日本畜産物輸出促進協議会「牛乳・乳製品統一マーク紹介」<<http://jlec-pr.jp/ja/milk/milk-logomark/>>

85 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会「日本産のコメ・コメ関連食品のご紹介」
<<https://zenbeiyu.com/jp/japan-rice/>>

86 ニセコ町の人口統計によれば、2015年から2019年までは外国人住民の季節変動が大きく、冬季には夏季の2倍を超える外国人住民がニセコ町に居住していた。参照、ニセコ町「ニセコ町人口統計」
<<https://www.town.niseko.lg.jp/chosei/tokei/population/>>

本人住民に対する異文化理解／多文化共生教育は現在実施されていないが、外国人住民の数が増加すれば実施を検討すべきである。

【課題1】行政資源の重点配分

ニセコ町の外国人住民向けサービスに関して特筆すべきは、国際交流員を4名配属させて、生活面の支援や日本語教室、健康診断・健康相談の通訳など、きめ細かなサービスを実施していることである。2022年度に国際交流員として地方自治体に配属された外国人は全国で437人であり⁸⁷、ニセコ町が受け入れた4名という数は、ニセコ町の人口規模から見てきわめて多い。国際交流員の手厚い配置が、外国人住民に対するきめ細かなサービスの提供を可能としている。外国人住民の受入れ数が増加するとした場合、国際交流員のニーズは増えこそすれ、減少することは考えられない。ニセコ町は今後も4名ないしそれ以上の国際交流員を受け入れ、外国人住民に対するきめ細やかな支援を継続する必要がある。

外国人住民の受入れ数が増加するとした場合、生活全般に関わる情報提供として、現在は日本語・英語併記で転入者に提供されている「ニセコくらしのガイドブック」を多言語化することが検討されてよい。また、外国にルーツを持つ子どもの就学・教育支援を実施することも検討すべきであろう。この他に、現在は実施されていない外国人向け就労支援・労務相談も実施を

検討すべきであろう。これらの新規サービスの実施に当たっては、町の担当部署と国際交流員が連携することで、サービスの質を確保することが期待できる。

【課題2】日本人住民に対する異文化理解／多文化共生教育

日本人住民に対する異文化理解／多文化共生教育は現在、実施されていないが、外国人住民の受入れ数が増加した場合には実施を検討すべきであろう。外国人住民の文化的背景を理解し、多文化が共生する社会を構築することが、外国人住民にとってはもちろん日本人住民にとってもニセコ町を住みやすくすることにつながる。そのことは、ニセコ町が持続可能な観光を実践する世界有数のスノーリゾートとしてのブランドを維持するためにも不可欠である。異文化理解／多文化共生教育に関しては、多くの外国人住民を受け入れてきた地方自治体による多数の先行事例がある⁸⁸。それらの先行事例を参照し、学習して、ニセコ町としての取組みに活かすべきである。

87 総務省「令和4年度 語学指導等を行なう外国青年招致事業（JET プログラム）の概要」

<https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01gyosei05_02000185.html>

88 参照、一般財団法人自治体国際化協会多文化共生ポータルサイト「全国の実例事例」

<<http://www.clair.or.jp/tabunka/portal/efforts/>>

Glocal Design Proposal : Niseko Town

Junji Nakagawa, Professor
Department of Modern Liberal Arts,
Chuo Gakuin University,
Director, Institute of Social System,
Chuo Gakuin University

Abstract

This paper aims at making proposals for the design of the Town of Niseko, Hokkaido, making full use of its global connections and its resources (historical, cultural, natural, social and economic). Based on the survey of the global connections and the resources of the Town of Niseko, it makes the following three proposals; promotion of sightseeing, focusing on the increase in the number of inbound travelers, promotion of the export of agricultural products, and the improvement of the treatment of foreign inhabitants. The Town of Niseko has succeeded in attaining world-renowned reputation as a snow resort. It should enhance that reputation by adding values such as affinity with sustainability and Sustainable Development Goals. The Town of Niseko is famous for its high quality agricultural products. In light of the growth potential of agricultural export, it should endeavor to promote export of its agricultural products. Foreign inhabitants account for over 5% of the population of the Town of Niseko. It will increase if it succeeds in promoting inbound travelers. The Town of Niseko should take good care of its foreign inhabitants by providing, among others, multi-lingual information on its administrative services and Japanese education for foreign elementary and junior high school students.